

# みやき便り

No.15

2018年2月28日発行

2月号

日本生協連  
組合員活動部

今年は東日本大震災から7年目を迎え、住宅再建や産業再生など、街の復興は目に見えるかたちで進んでいます。支援の形も地域コミュニティづくりのお手伝いとして災害公営住宅でのお茶会が増えつつあります。「ふれあい喫茶」が、コミュニティづくりに苦慮されている方へのきっかけづくりになればと思います。



## 初めてのお茶会・みんなで笑顔になろう会を開催しました

気仙沼市の長磯浜には、災害公営住宅と防災集団移転の住宅が立ち並ぶ中に「長磯浜ふれあい館」というコミュニティセンターがあります。「住民の集まる機会がほしい！」という住民のご希望をうけ、はじめてのお茶会『みんなで笑顔になろう会』を開催しました。

“笑顔”は最大のコミュニケーションという言葉を参考に、コープこうべ（大阪北地区）のみなさんから頂いた資料「笑顔（スマイル）の作り方」と鏡を活用して、笑顔の訓練から始めました。「ウイスキー」などと声を出す6つのメニューを、毎日朝晩2回、3か月続けるとまわりの人からこのごろ変わったねと言われるようになるとのこと。その後、お茶を飲みながら会話を楽しみ、お手玉ゲーム、笑い文字書き、歌、指脳トレなど、たくさんの企画で大盛り上がりになりました。「楽しかった」「普段はなかなか笑いの機会が無いので、またやってください」という感想をいただきました。



## コープぎふからメッセージが届きました

コープぎふのみなさんから東日本大震災の復興支援の取り組みとして、「くらし・地域復興応援募金」の取り組みだけでなく、ふれあい喫茶で楽しいおしゃべりが弾むようにと、毎月、お茶菓子を送ってくださっています。届いたお菓子にはメッセージが添えられています。メッセージを見た方から「忘れずにいてくれてうれしい」と感謝の言葉が寄せられています。





## ふれあい喫茶を開催しています



10月16日にみやぎ生協亘理店集会室で開催したふれあい喫茶には17人が参加しました。前回参加された方がお友だちを誘って参加したため、4人の方が初めて参加しました。

ふれあい喫茶では参加者のアイデアでレジ袋ケース作りにチャレンジ。初めて参加した方は戸惑いつつも、小物づくりが進むにつれ、隣の方とだんだんとおしゃべりをし、楽しんでいました。

10月18日、亘理町西木倉公営住宅集会所のふれあい喫茶では7人が参加しました。化粧品メーカーのクラブコスメックスの方に肌の水分チェックとハンドマッサージを教えていただきました。参加者からは「マッサージを覚えてもらいリフレッシュできた」とみなさん笑顔でした。



## 復興しています 東松島市に祈念公園が完成！

東松島市の「旧野蒜駅プラットホーム」は震災遺構として保存されています。この旧野蒜駅周辺に復興祈念公園が完成し、11月5日に式典が行われました。モニュメントは野蒜地区を襲った津波と同じ3.7メートルの高さで、犠牲者約1,100人全員の名前が刻まれています。「公園ができてうれしい。ここに来れば、亡くなった家族に会える気がする」と話される方もいらっしゃり、公園が遺族の方々の心のよりどころにもなっています。訪れる方が増えて震災の風化を防ぐことにつながることを望みます。



モニュメントのようす



旧野蒜駅



東松島市の被害概要

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部  
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉